

令和4年度 第5回 FMはまなす番組審議会 議事録

1. 開催年月日 令和5年1月24日(火)
2. 開催場所 岩見沢市有明町南1番20
岩見沢市コミュニティプラザ2F 会議室A
3. 出席者 審議委員総数 8名
出席委員数 5名

出席委員の氏名 ・岡 嘉彦
・永沼 興子
・仁志 正樹
・木村 聡
・北口 博美

局側出席者 ・阿部 啓吉(代表取締役)
・松井 宙夢(スタッフ)
4. 議題 「局制作番組」「市民制作番組」についての審議
5. 議事の概要(放送日1/9~1/14)
 - (1) 局制作番組について
「ハッピーエンディングを迎えるために」
 - (2) 市民制作番組について
「BEET POPS CLUB」

6. 審議内容

(1) 「局制作番組」について

「ハッピーエンディングを迎えるために」

葬儀についての疑問やマナー、リスナーからの質問を地元の葬儀会社である、岩見沢公益社の斎藤社長にお聞きしていく番組。

① 事前意見回答報告

岡委員長

1月9日（月）の放送について

「このようなケースは実際に分からないことが多いので、日頃からの勉強として大変参考になり役立つ番組であると思う。3月実施の思い出供養・・・初めて知りました。」

永沼委員

1月9日（月）の放送について

「宗教が違ふとこの様な事があることが分かりました。嫁になったら其処の家庭を守るといのが良いのではないかと思っていました。やはり色々な方に話を聞くべきだと思いました。」

仁志委員

1月9日（月）の放送について

「岩見沢公益社齊藤聡社長の優しい声で、お話を伺うとお寺の住職の言葉と同じ様に安心感が満ち溢れます。今回の話題は、嫁ぎ先の家庭での異なる宗教に関してですが、長い目で歩み寄りを模索しながら持続可能な方向で進める考え方は、他の事でも共通する考え方だと感じました。事態を「受け入れ学ぶ事で」ギクシャクしない生活は参考になりました。「人に、あまり聞けない話題が聞ける有難い番組ですね」継続して聞けると良いですね！！」

木村委員

1月13日（金）の放送について

「前半は視聴者からの質問に答え、後半は感動葬儀の話の構成。質問は、結婚した配偶者の宗派と自分の実家の宗派が違う場合にどうしたら良いかの質問。斎藤社長の丁寧な答えにもっともだと感じた。私自身も父方と母方の墓の問題に直面していて身につまされた。感動葬儀も良い話でした。そろそろ自分の写真も整理しておかないと…。全体的に優しく丁寧な内容ではあったが、質問は実際の視聴者からの投稿なのか、制作側が用意したものなのか、その事実が不明なまま放送が作られていることでリアルさが今一つ欠けている気がした。」

畑委員

1月9日（月）の放送について

「30代の女性からの質問。実家と嫁家の宗派の異なる場合の解決法。ご本人が亡くなったら子供さんの代にも及んでしまうので、先を見据えて両方共に受け入れ責任を持って祀っていくと言う事、歩みより見守っていく事が大切と繰り返していましたがその通りかと思いました。」

加藤委員

1月13日（金）の放送について

「家族間での宗教の違いという誰に聞けばいいのかわからない事をお話していただけて、同じようにどうしたらいいのかわからない方のためになる回だと思いました。コロナ禍での葬儀の疑問や準備の仕方など、この番組を通して少しでも参考になり、いざという時の為にこれからも色々な疑問に答えていただけたらと思いました。公益社さんの中に、斎藤社長以外にも葬祭プランナーさんがおられると思いますが、そういった社員の方たちのお話も聴いてみたいと思いました。」

② 審議

岡委員長

「では、審議を始めます。参考になる話が多かった。良い番組だと思うし優しく説明してくれて聴きやすかった。」

スタッフ松井

「木村委員の意見で質問は投稿者かとありましたが、スタッフの家族からの相談などもあります。質問の半分以上は寄せられたものです。」

岡委員長

「募集しているのですか。」

スタッフ松井

「番宣を1日数回放送しているので、その中で募集しています。」

岡委員長

「市民との繋がりが出来て良いと思います。」

永沼委員

「斎藤社長の答え方が良いですね。」

仁志委員

「専門家が答えてくれるのが良いと思います。」

岡委員長

「色々な質問に答えて貰えると分かるので良い番組だと思います。では、次に進みます。」

(2) 「市民制作番組」について

「BEET POPS CLUB」

誰もが1度は耳にした事のある洋楽を中心に、DJが1960年代のアーティストの音楽や、1950、60年代のアメリカのリズム&ブルースを紹介する番組。

① 事前意見回答報告

仁志委員

1月14日（土）の放送について

「60年代のビートルズに影響を与えた1950年代1960年代のブルースを聴きました。14年半も継続した番組、専門的なコメント！本当に好きでなければ出ない言葉が方々に満ち溢れ驚きながら聞きました。ここまで好きなジャンルを見つけたDJユキさん、渡辺ミキヤさんに対して。「羨ましさ」を感じました。更に継続してほしい番組の一つですネ！」

畑委員

1月14日（土）の放送について

「微妙な時間帯。見事なまでに知っている名前が出てこない。（唯一会話の中にジミー・ヘンドリックスが聞き取れましたが）。リズム&ブルースのオンパレード。速いテンポで進めていく中、曲数も多く、ファンの方には最高の時間ではないかと思います。”次、お願いします“が耳に残りました。」

② 審議

岡委員長

「たまたま1960年代ですか？」

スタッフ松井

「毎回です。」

仁志委員

「好きな人には良い番組だと思います。」

木村委員

「構成の仕方を考えた方が良いのでは？リスナーサービスも考えた方が沢山聞いて貰えるのではないのでしょうか。」

スタッフ松井

「パーソナリティーはこの時は2名で、1人の時も多いです。」

仁志委員

「年齢の上の方が分かるようなアーティストの名前を入れて貰えると、番組を聴きやすいのではないかと思います。」

岡委員長

「音楽なので好き嫌いはあると思います。」

永沼委員

「本当に音楽が好きなのだなと思いました。」

岡委員長

「マニアックな音楽が好きな人の番組があつて良いと思います。他に意見は有りませんか？」

北口委員

「この番組ではありませんが、昨日の昼の番組でパーソナリティーの安定した聴きやすい声に癒されました。」

岡委員長

「役立つ番組として継続して欲しいです。色々なジャンルの番組があつて良いので工夫しながら惰性にならず放送して欲しいと思います。他に意見が無ければ終了します。」

7. 審議機関の答申処置及び年月日

なし

8. 前回の審議会の指摘事項について改善した事項

(1) 局制作番組

「ひと・まち・げんき！」

早口になる部分の修正と、引き続き良い番組作りをお願いした。

(2) 市民制作番組

「The Nan Da Low Show」

引き続き良い番組作りをお願いした。

9. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表内容、方法及び年月日。

公表方法	自社放送、ホームページ、局内設置議事録
公表内容	委員の主な意見
公表年月日	令和5年2月15日

10. その他参考事項

特にありませんでした。